令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標の年度	目標の値	実績の年度	実績の値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
092100_大田原市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	コミュニティスクールは導入しているが、学校を核とした地域づくりの一層の推進のため、市内8中学校区すべてに地域学校協働本部を設置していく。	地域学校協働本部が未設置である3中学校区について、教員、社会教育関係者へ説明し、理解を求めて3中学校区への地域学校協働本部を設置・運営に努める。	6年度は、学校・地域に対する理解を深めるために、研修や学校運営協議会、個別説明会の開催等に努めたことで、令和6年度の地域学校協働本部設置目標数は達成できたことから、引き続き丁寧な説明に努め、3中学校区で設置できるよう努める。	地域学校協働本部会議を定期的に開催することで、地域と学校がつながり、地域の人々の協力の下、地域に応じた様々な活動が行われ、地域で子どもたちを育てる環境が構築される。	地域学校協働活動本部設置数	5	校区	8	8	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	地域や学校に対する理解を深めるために、研修や学校運営協議会、個別説明会の開催等に努めたことで、令和7年度の地域学校協働本部設置目標数は達成できた。令和8年度は、学校を核とした地域づくりの一層の推進に努め、各地域学校協働本部が地域の実情に応じた活動を安定的に展開できるよう支援に努める。	大田原市ホームページに掲載 https://www.city.ohtawara.tochigi.jp/docs/2024111400014/